

※※2015年2月改訂（第4版 処方箋医薬品表示変更に伴う改訂）
 ※2008年7月改訂（第3版 販売名変更に伴う改訂）

※※ 処方箋医薬品
 注意—医師等の処方箋に
 より使用すること

薬物中毒解毒剤

※ **L-メチオニン注射液 100mg「日本臓器」**

日本標準商品分類番号	
873929	
承認番号	22000AMX00658000
薬価収載	2008年6月
販売開始	1955年8月
再評価結果	1983年4月

貯 法：室温保存（1～30℃）。
 使用期限：5年。外箱・アンプルラベルに表示。

L-Methionine inj. 100mg “Nippon-zoki”

【組成・性状】

販売名	L-メチオニン注射液100mg「日本臓器」
剤形	注射液
成分・含量 1管2mL中	L-メチオニン 100mg
添加物	pH調整剤
pH	8.0～9.5
浸透圧比	約1.8（0.9%生理食塩液に対する比）
色調・性状	無色澄明な水性注射液である

(2)アンプルカット時

本剤にはアンプルカット時にガラス微小片混入の少ないワンポイントカットアンプルを使用しているが、さらに安全に使用するため、エタノール綿等で消毒することが望ましい。このとき、エタノールが内容液中に混入しないよう蒸発してからカットすること。（末尾アンプルカット方法参照）

【効能・効果】

薬物中毒

【用法・用量】

通常成人 L-メチオニン 1日100mg～1,000mg（1管～10管）を静脈内又は皮下に注射する。
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。（再審査対象外）

	頻度不明
精神神経系	頭重、頭痛
消化器	悪心等
その他	胸部灼熱感

2. 適用上の注意

(1)静脈内注射時

ゆっくり静脈内に投与すること。

【薬効薬理】

L-メチオニンは重要な含硫アミノ酸で、メチル転移、SH基の供給に関与する。

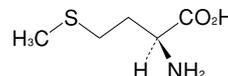
【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：L-メチオニン（L-Methionine）

化学名：(2S)-2-Amino-4-(methylsulfanyl) butanoic acid

分子式：C₅H₁₁NO₂S（149.21）

構造式：



性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、特異なにおいがある。ギ酸に溶けやすく、水にやや溶けやすく、エタノール（95）に極めて溶けにくい。希塩酸に溶ける。

【取扱い上の注意】

寒冷時、結晶が析出することがあるが、その際は体温程度に温めて、結晶が完全に溶解した後使用すること。

なお、効力には何ら変化はない。

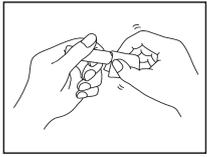
【包装】

50管

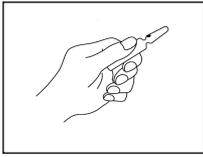
【くすりの相談窓口】

日本臓器製薬株式会社 くすりの相談窓口
〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番2号
TEL(06)6233-6085 土・日・祝日を除く 9:00~17:00
FAX(06)6233-6087
ホームページ <http://www.nippon-zoki.co.jp/>

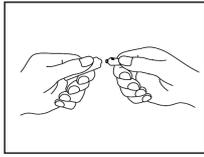
●アンフルカット方法



①カット部分をエタノール綿等で消毒することが望ましい。



②アンフル頭部の青丸印が真上にくるように持つ。



③青丸印を親指で押さえ、下の方向に軽く折ると、カットされる。このときエタノールが内容液中に混入しないよう蒸発してからカットすること。